

## 茨城県内市町村が実施する洪水からの避難訓練について

市町村名	龍ヶ崎市
訓練名称	龍ヶ崎市・川原代ふれあい協議会 総合防災訓練 2023
訓練実施日時	令和5年11月25日 8時～13時
訓練実施場所	<ul style="list-style-type: none"> <li>●龍ヶ崎市役所【市災害対策本部設置・情報伝達訓練会場】</li> <li>●龍ヶ崎市立馴馬台小学校体育館【避難訓練・避難所設営訓練・災害ボランティアセンター受付訓練会場】</li> <li>●小貝川堤防（龍ヶ崎市高須橋周辺）【消防団・消防署現地災害対策本部設置・堤防巡視訓練】</li> <li>●龍ヶ崎市立川原代小学校体育館、グラウンド【現地災害対応訓練・川原代小学校児童防災訓練】</li> </ul>
実施した訓練の概要	<p>(1) 市災害対策本部設置・情報伝達訓練【主催：龍ヶ崎市】 台風接近に伴う大雨による土砂災害や中小河川の氾濫、小貝川や利根川の大規模河川の水位上昇に伴う洪水のリスクに備え、状況に応じた災害対応を市において展開。「災害対策本部」を設置し、訓練シナリオによる災害対応を実施しながら、防災行政無線による避難発令、避難所の開設にあたる職員への指令をはじめ、消防、消防団本部、警察及びライフライン機関などとの相互の情報連絡による情報伝達訓練を実施。</p> <p>(2) 避難訓練【主催：川原代ふれあい協議会】 小貝川の水位上昇に伴い、浸水想定区域の地区に対し、「警戒レベル3高齢者等避難」、「警戒レベル4避難指示」及び「警戒レベル5緊急安全確保」を防災行政無線で発令。住民は、「警戒レベル3高齢者等避難」又は「警戒レベル4避難指示」の合図により、開設された指定避難所の馴馬台小学校へ避難してもらう避難訓練を実施。</p> <p>(3) 避難所設営訓練・災害ボランティアセンター受付訓練【主催：龍ヶ崎市・龍ヶ崎市社会福祉協議会】 避難者を受け入れるため、馴馬台小学校に指定避難所を、馴馬台コミュニティセンターに福祉避難所を開設。訓練で避難してきた住民に対し、受付から避難スペースまでの誘導を展開した。 体育館内では、訓練参加者に「段ボールベット」及び「パーテーションテント（2種類）」の展開訓練を体験してもらい、展開後は実際の避難所のレイアウトを見学してもらい、質疑応答を行うなど、避難時の準備品等の備えをイメージしてもらった。また、災害ボランティアを被災者の立場としてどのように要請すればよいかを把握してもらうため、災害ボランティアセンター受付を体験してもらった。</p> <p>(4) 現地災害対応訓練【主催：龍ヶ崎市・龍ヶ崎消防署（西部出張所含む）】 小貝川の堤防に龍ヶ崎市消防団本部による「現地災害対策本部」を設置。消防団員</p>

(第8分団第2部から第5部、第9分団及び第10分団)を堤防沿いに配置し、水位監視、堤防の亀裂や漏水箇所の点検を展開。

その後、小貝川の越水の危険性が高まったことを想定し、「土のう積載訓練」及び「水のう展張訓練」を龍ヶ崎市消防団及び龍ヶ崎消防署により実施。

「積み土のう訓練」及び「水のう訓練」終了後、暴風による家屋倒壊が発生したことを想定し、倒壊家屋からの「要救助者救助訓練」を展開。

その他、竜ヶ崎警察署は、避難地区である川原代地区において、防犯上の巡回等を展開し、東京電力パワーグリッド(株)は、暴風による電柱倒壊の対応や大規模停電が発生した際の対応を展開した。

参加者数

参加者計：約400人

(住民：約100人、小学校児童・父兄・教員：約90人、防災関係機関：約70人、職員約80人、関係団体：約60人)

写真



市災害対策本部設置・情報伝達訓練



消防団員による堤防巡視



消防署・消防団員による積み土のう訓練



避難所受付訓練  
(地域住民組織が受付業務を担当)



避難所設営訓練



社会福祉協議会による  
ボランティアセンター受付訓練